

145 立作太郎氏の洋行

〔『法学新報』第二一九号 明治三十四年二月二十日〕

○立作太郎氏の洋行

法学士立作太郎氏は夙に我東京法学院に国際法の教鞭を取られたるが曩者文部省より英仏独三ヶ国留学を命ぜられ本月九日午前九時二十五分新橋発の汽車にて東京を發し同日正午横浜出帆の佐渡丸に搭乗して其の途に上れり新橋の停車場に送る者氏の親戚を始めとして大学出身の学友、及び岡野敬次郎、奥田義人、^(坂)板本武治、三浦大之助の諸氏ありき、